

| | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|------|---|----------|-------------|---------|--------|---------|----------|---------|
| 1. 科目名 (単位数) | 開発経済論 (2単位) | | 3. 科目番号 | SBMP3118 | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 杉山 章 | | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、集団討議、学生との応答などを併用する。 | | 5. 開講学期 | 秋期 | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 「経済学 (国際経済を含む)」なども履修することが望ましい。 | | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | 開発経済学は、一国が低開発段階から経済発展を遂げるために必要な要素・政策や成長の制約要因を、経済学的手法により探る学問である。本講義では低開発段階から経済発展を遂げるために必要な様々な経済的条件に着目して講義を進める。途上国の国々には、比較的大きな経済成長・経済発展がみられる国もあるが、発展のパスに乗れていない国も存在する。発展を遂げた国、未発展・低開発の国それぞれに共通する政策や問題点を事例を交えながら指摘し、経済発展のために今後どのような開発が必要かについて論ずる。 | | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発経済学の観点から発展途上国が抱えている問題を理解する。 2. 途上国諸国の経済発展の歴史と発展するための条件を理解する。 3. 経済発展の進んだ国と遅れている国の違いは何かを理解する。 4. 途上国間の地域統合やサブリージョナルの経済統合の動きを理解する。 5. わが国と途上国諸国との経済的な結びつきを理解する。 | | | | | | | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | 講義で取り上げた学習内容や関連するテーマについて課題を示し検討する。 | | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 教材・資料を配布するが、以下を基本的な参考書として授業で使用するので各自準備すること。 【参考書】黒崎 卓/栗田匡相『ストーリーで学ぶ開発経済学』有斐閣ストゥディア 2016年 | | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発経済に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経済学的な思考が身についたか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table> | | | | 1 授業への積極的参加 | 総合点の20% | 2 期末試験 | 総合点の50% | 3 課題レポート | 総合点の30% |
| 1 授業への積極的参加 | 総合点の20% | | | | | | | | | |
| 2 期末試験 | 総合点の50% | | | | | | | | | |
| 3 課題レポート | 総合点の30% | | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>グローバル経済の発達と社会環境の変化に伴い、人々や企業は様々な適応を続けています。私たちの暮らしもまた時代と共にさまざまな変化を続けてゆくことでしょう。複雑に見える社会の動きをシンプルに理解し、さらに、何がどうなれば良いのか、を考える力は問題解決力として、就職活動だけでなく、将来の社会人 (ビジネスパーソン) として社会を担ってゆく時に役立つ資質の1つです。Video 教材も取り入れたアクティブな授業を展開します。皆さんの積極的な参加を期待しています。共に楽しく学んで行きましょう。</p> <p><教員メールアドレス> aksugiya@ed.tokyo-fukushi.ac.jp</p> | | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内 (初回授業) で周知する。 | | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | | |
| 第1回 | 授業ガイダンス：開発経済学とは何か？ | 事前学習 | 本授業専用のノートを準備すること | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 参考書 p1~12 を読み返し整理しておくこと | | | | | | | |
| 第2回 | 農業 | 事前学習 | 参考書 p13~28 を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 開発経済学として農業に関する課題を整理し、まとめておくこと。 | | | | | | | |
| 第3回 | 農村信用市場 | 事前学習 | 参考書 p31~48 を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | マイクロファイナンスの要点と課題を整理し、まとめておくこと。 | | | | | | | |
| 第4回 | 教育と健康 | 事前学習 | 参考書 p51~67 を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 開発経済学として人的資本や人的投資に関する課題を整理し、まとめておくこと。 | | | | | | | |
| 第5回 | 労働移動 および前半課題レポートの事前説明 | 事前学習 | 参考書 p69~87 を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 開発経済学として労働市場の変化に関する課題を整理し、まとめておくこと。 前半課題レポートの準備を始めること。 | | | | | | | |
| 第6回 | 経済成長と工業化 (1) 日本の経済成長 | 事前学習 | 事前の配布資料を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 日本の経済成長の要点と課題を整理し、まとめておくこと。 | | | | | | | |
| 第7回 | 経済成長と工業化 (1) 経済とグローバル化 | 事前学習 | 参考書 p89~105 を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 授業内容の要点と課題を整理し、まとめておくこと。 | | | | | | | |
| 第8回 | 前半の振り返り、前半の課題レポートレビュー | 事前学習 | 前半の授業内容を振り返っておくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 自分の課題レポートをレビューしておくこと | | | | | | | |
| 第9回 | 技術移転 | 事前学習 | 参考書 p107~121 を読んでおくこと。 | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 技術移転の要点と課題を整理し、まとめておくこと。 | | | | | | | |

| | | | |
|------|-----------------------------|------|--|
| 第10回 | 開発金融 | 事前学習 | 参考書 p125～141 を読んでおくこと。 |
| | | 事後学習 | 開発金融の要点と課題を整理し、まとめておくこと。 |
| 第11回 | 開発援助（1）日本の開発援助 | 事前学習 | 参考書 p142～161 を読んでおくこと。 |
| | | 事後学習 | 開発援助に関する要点と課題を整理し、まとめておくこと。 |
| 第12回 | 開発援助（2）新しいグローバル化 | 事前学習 | 事前の配布資料を読んでおくこと。 |
| | | 事後学習 | 開発経済学として中国の開発援助に関する要点と課題を整理し、まとめておくこと。 |
| 第13回 | 持続可能な社会の実現に向けて（1）CSV、ESG 投資 | 事前学習 | 事前の配布資料を読んでおくこと。 |
| | | 事後学習 | CSV、ESG 投資の要点と課題を整理し、まとめておくこと。 |
| 第14回 | 持続可能な社会の実現に向けて（2）SDGs の課題 | 事前学習 | 参考書 p163～181 を読んでおくこと。 |
| | | 事後学習 | SDGs の要点と課題を整理し、まとめておくこと。 |
| 第15回 | 講義全体のまとめ、期末試験の事前説明 | 事前学習 | 講義全体の要点を自分なりに整理すること。 |
| | | 事後学習 | 期末試験の準備を進めること。 |
| 期末試験 | | | |